

各会場
入場
無料

原発事故14年

福島「避難」のかたち展

ふるさとかから引き離された人たちの今、ありのまま

福島では原発事故から14年が経つ今も県内外に多くの人々が避難しています。被災地は帰還困難区域を抱えながらも全ての自治体で居住可能になりましたが、散り散りにならざるを得なかった避難者の苦難が忘れられがちな現状は否めません。

慣れ親しんだ地域から引き離されたままの人、戻らないことを選択した人、今は難しくて帰還の機会をうかがっている人、避難先とふるさととの絆を保とうと奮闘する人。それぞれの事情や思い、「避難」のかたちは各人各様です。

本展では、原発事故の風化を防ぐため、当たり前の日常を過ごしていた土地から避難を強いられた人々のあの日からこれまでを、写真やルポルタージュで振り返ります。



photo/かつて避難指示区域だった大熊町野上地区の田園風景

東日本大震災・原子力災害伝承館
エントランスホール

福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39

2025 7/18 金 ▶ 9/29 月

9:00-17:00 (最終日は15:00まで)

火曜日(祝日の場合は翌平日)は休館、
8/12、9/23は開館

つくば市役所1階市政情報コーナー

茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

2025 8/1 金 ▶ 8/29 金

9:00-16:30 (最終日は13:00まで)

土日祝日は閉庁

桜川市生涯学習センター さくらす

茨城県桜川市東桜川一丁目21番1号

2025 8/30 土 ▶ 9/30 火

開館情報は「さくらす」のホームページ
(<https://www.sakurasu-sakuragawa.jp/>)

をご確認ください(最終日は14:00まで)

9/15を除く月曜日と9/16は休館

主催

福島大学地域未来デザインセンター
相双地域支援サテライト

相双地域支援サテライトは福島第一原発事故の被災地域と福島大学とをつなぐ
現地の拠点として、2012年6月、川内村に開設。現在は富岡サテライトと浪江サ
テライトに職員を配置し、被災12市町村を対象とした支援活動を行っています。



相双地域支援サテライト
キャラクター
そうそうくん

お問い合わせ

福島大学地域未来デザインセンター 相双地域支援サテライト

〒979-1112 福島県双葉郡富岡町中央2丁目83 とみおかワーキングベース 2J TEL: 0240-23-6675 e-mail: r411@ipc.fukushima-u.ac.jp

